



第 3834 図



第 3835 図



とうささくさ

*Lophatherum sinense Rendle*

本州の近畿以西、四国、九州の暖帯林地に産する多年生草本で、支那中部に分布する。根茎は木化して硬く、稈はササクサより強剛で、太く硬く1-2稈を直立して生じ、高さは花序と共に60-90cm許に達する。葉は広披針形、深緑色で斜開互生し、長さ15-20cm、巾3-4cm許、広披針形で先端は漸尖し、基部は円形、短柄を経て長い鞘部となる。夏秋、稈頂より大形の円錐花序を出し、花序の軸から左右に互生的に側枝を分ち、扁平狭卵形の長さ1cm、巾3mm許の小穂を稍密に着け、初め扁平するが後に広く開出する。内外穎はやや硬い紙質卵状楕円形鈍頭で芒なく光沢あり、時に上方背面、縁辺の内方に粗毛が列生し、稈より著しく短かく内に多数の小花を含む。外稃は広披針形鈍頭で数個重畳して生じ、短芒を有し、光沢があり背面は膨出する。和名は唐菰草。支那に産し、姿が笹に似るのによる。

えだらちぢみささ

*Oplismenus compositus Beauv.*

伊豆七島、九州の暖地の林縁、樹下等に産する多年生草本で、支那及びアジア、太平洋諸島などに広く分布する。稈は基部は甚しく匍匐して、地面を覆う。葉はチジミザサより厚く、披針形、辺縁波状を呈し、屢々葉裏及び葉鞘に短密毛あり、夏秋の候、稈頭に総状をなして花序を抽出直立し、高さ20-40cmに及ぶ。花序の枝は斜開伸長して長さ2-5cm許ある。枝上に小穂を稍疎に生じ、小穂は緑色時に帯紫色、狭卵形、穎は3個あり、第3穎は時に雄花を有する。第1穎は小穂の2分の1、第2穎は小穂の3分の2、第3穎は小穂と同長で、何れもやや太い芒を有するが第2穎の芒が最も長く小穂の倍長許ある。

こめひしば

*Digitaria chinensis Hornem.*

本邦各地に普通な1年生草本で、南方にも広く分布し、道端、人家の周辺など陽光の弱い裸地に多い雑草である。茎は纖細、帯紫色で長く地下を匍い、各節から発根し、斜上して高さ20-30cmに達する。葉は互生し、薄質、無毛、披針状線形、深緑色でメヒシバの如く蒼緑ならず、より小形で、円味を帯び、長さ3-5cm、下方は鞘となり、鞘口附近に長毛が疎生する。初秋に、枝頂に纖長な花序を直立して生じ、2-3個の瘦穂を開出して生ずる。穂軸は有翼扁平で、縁は平滑、小穂は扁平、披針形、双生し、長梗と短梗と1組になる。外穎は退化し、内穎は膜質披針形、3脈があり、白毛を生ずる。外稃は最も大形、披針形で、5脈あり、縁辺に白色の軟毛がある。

いとすすき

*Miscanthus sinensis Anderss.*

var. *gracillimus Hitchc.*

ススキの狭葉の一品で往々向陽の山地、海岸近くなどに自生し、観賞のため庭に植え又盆栽とする。根茎はススキと同様に短い節をなし、再三分岐して入り組み大塊をなすがススキより細く、稈は高さ60-120cm許、直立し、多数叢生する。葉は狭線形で大きく彎曲して先端は垂下し、質はやや硬く、辺縁に細歯があつて糙波し、巾3-6mm許あり、中肋は白く、葉の巾の割合に広い。秋に稈頂に大形の穂を生じ、10数個の側枝の上に小穂を稍々密生する。小穂は軸に双生し、小梗は長短不同である。本邦暖地の海岸から広く東亞南部及び太平洋諸島に分布するススキの広葉の一品にハチジョウススキ var. *condensatus Makino* がある。葉の巾は1.5-4cmに達し、上面光沢あり下面は粉白を呈する。

たかのはすすき

*Miscanthus sinensis Anderss.*

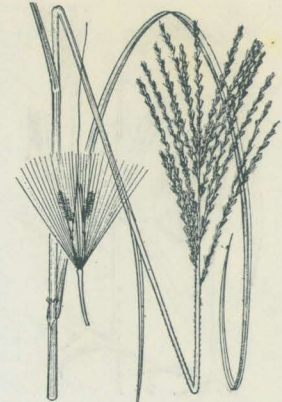
var. *zebrinus Beal*

人家に栽植して観賞するススキの一変種で、葉はやや巾がせまく、硬質で著しく糙波し、上面に淡黄色の矢羽形の斑が2-3cmの間隔をおいて現われ、下面は淡緑色で光沢がある。秋に稈頂に穂を出し、多数の糸状の側枝を分つて、枝上に小穂を密に双生し、小梗に長短のあることなどすべてススキと同様である。ススキの一変種で葉に縦に白斑の現われるものにシマススキ(縞ススキ) var. *variegatus Beal* がある。

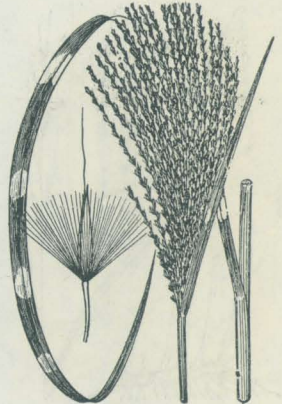
おおえのころ

*Setaria gigantea Makino*

アワとエノコログサの自然雑種であり、屢々粟畠中にアワと混じて、高く抽み出ている。稈は高さ70-120cmに及び基部から直立又は少多膝曲分枝して立ち、葉は大形で、稈の上方まで互生し、エノコログサに於る如く基部の近くで捻れて上面が下向することなく、葉身は長さ15-35cm、巾1.5-2cm屢々縁に横皺がある。夏に稈頂に円柱状の円錐花序を出し、上半は多少一方に傾いて曲り、長さ10-20cm、巾2-2.5cm許あり、主軸には開出した軟毛が密生し、側枝は複雑に分枝して多数の小穂を密集して生ずる。小穂下から多数の剛毛が生え、小穂はエノコログサより少しく大形であるが、アワの如く豊満ではない。小穂には2小花があり、上花が稃り、下花は不稃であり関節は両者の下にあつて共に脱落することはエノコログサと同じで、アワの如く、稃った上小花が脱落することはない。



第 3837 図



第 3838 図

